

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成27年7月2日(2015.7.2)

【公開番号】特開2014-29814(P2014-29814A)

【公開日】平成26年2月13日(2014.2.13)

【年通号数】公開・登録公報2014-008

【出願番号】特願2012-170488(P2012-170488)

【国際特許分類】

H 05 B	33/26	(2006.01)
H 05 B	33/08	(2006.01)
H 01 L	51/50	(2006.01)
H 05 B	33/12	(2006.01)
H 05 B	33/22	(2006.01)

【F I】

H 05 B	33/26	Z
H 05 B	33/08	
H 05 B	33/14	A
H 05 B	33/12	B
H 05 B	33/22	Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月18日(2015.5.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本開示は、有機層を含む自発光型の発光素子を有する表示装置、およびそのような表示装置を備えた電子機器に関する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

【図1】本開示の一実施の形態に係る表示装置の構成を表す図である。

【図2】図1に示した画素駆動回路の一例を表す図である。

【図3】図1に示した表示領域の構成を表す平面図である。

【図4】図1に示した表示領域の構成を表す断面図である。

【図5】図1に示した表示領域の構成を表す他の断面図である。

【図6】図4および図5に示した有機層を拡大して表す断面図である。

【図7】比較例としての表示装置の構成を表す平面図である。

【図8】図7に示した表示領域の構成を表す断面図である。

【図9】第1の変形例としての表示装置の要部構成を表す断面図である。

【図10】第2の変形例としての表示装置の要部構成を表す断面図である。

【図11】第3の変形例としての表示装置の要部構成を表す断面図である。

【図12】第4の変形例としての表示装置の要部構成を表す断面図である。

【図13】第5の変形例としての表示装置の要部構成を表す断面図である。

【図14】上記実施の形態等の表示装置を含むモジュールの概略構成を表す平面図である。

【図15】表示装置の第1の適用例としてのテレビジョン装置の外観を表す斜視図である。

【図16A】表示装置の第2の適用例としてのデジタルカメラにおける外観を表す第1の斜視図である。

【図16B】表示装置の第2の適用例としてのデジタルカメラにおける外観を表す第2の斜視図である。

【図17】表示装置の第3の適用例としてのノート型パーソナルコンピュータの外観を表す斜視図である。

【図18】表示装置の第4の適用例としてのビデオカメラの外観を表す斜視図である。

【図19A】表示装置の第5の適用例としての携帯電話機における、閉じた状態の外観を表す正面図、左側面図、右側面図、上面図、下面図である。

【図19B】表示装置の第5の適用例としての携帯電話機における、開いた状態の正面図および側面図である。

【図20A】表示装置を用いた第6の適用例としてのタブレット型PCにおける外観を表す第1の斜視図である。

【図20B】表示装置を用いた第6の適用例としてのタブレット型PCにおける外観を表す第2の斜視図である。

### 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

駆動トランジスタTr1は、例えばドレン電極が電源供給線140Aと接続されており、電源供給線駆動回路140による第1電位または第2電位のいずれかに設定される。駆動トランジスタTr1のソース電極は、有機発光素子10と接続されている。駆動トランジスタTr1は、第1電極層13と第2電極層16との間に印加される電圧を制御するための駆動素子である。

### 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0063】

また、上記各実施の形態では、アクティブマトリクス型の表示装置の場合について説明したが、本技術はパッシブマトリクス型の表示装置への適用も可能である。更にまた、アクティブマトリクス駆動のための画素駆動回路の構成は、上記各実施の形態で説明したものに限られず、必要に応じて容量素子やトランジスタを追加してもよい。その場合、画素駆動回路の変更に応じて、上述した信号線駆動回路120や走査線駆動回路130のほかに、必要な駆動回路を追加してもよい。